

競 技 注 意 事 項

- 1 本大会は2013年日本陸上競技連盟競技規則および本大会の申し合わせ事項によって競技を行う。
スタートはイングリッシュコマンド、不正スタート1回失格とする。
- 2 本大会は県ユース大会出場選手の選考競技会である。神戸地区より各学年男子7名、女子6名が
県大会へ出場できる。競歩競技は男女とも2名が県大会に出場できる。
男子三段跳は1年・2年とも11m50の標準記録を突破したもの。
男子ハンマー投は1年23m00、2年30m00の標準記録を突破したもの。
各種目の一次通過者は必ず二次へ出場すること。なお、二次の記録により県大会出場者を選考する。
但し、一次のみの種目は、一次の記録により県大会出場者を決定する。
跳躍（走高跳は除く）、投てき種目は3回の試技後、上位8名を選出しあと3回の試技を行う。
- 3 招集は雨天練習場で行う。競技者係の指示に従い必ず点呼を受けること。
招集開始および完了時刻は競技日程欄に記載してある。
招集開始時刻に招集場で競技者係の点呼を受け、その際ナンバーカード・スパイクの点検を受ける。
★（注）2種目に引き続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できなときは、多種目同時出場届を
競技者係に提出し、指示を受けること。 ※ 点呼を受けないものは出場を認めない。
- 4 リレーのオーダー用紙の提出については、つぎのとおりとする。
各種目第1組の招集完了時刻の2時間30分前～2時間前の間に本部番組編成員に提出のこと。
リレーのオーダー用紙はプログラム最終ページのものを使用する。
- 5 トラック競技の二次予選への進出において、同タイムが出た場合、セパレートレーンではレーンの許す限り進める。
空レーンを超えた場合は抽選で決定する。オープンレーンでは、全員進める。
- 6 プログラム記載のナンバーや氏名に誤りがあれば、大会総務に申し出て訂正してもらうこと。
- 7 ナンバーカードは胸部・背部にしっかりと付けること。（ナンバー布の大きさを変えない）
ただし、跳躍競技に参加する競技者は胸部・背部のいずれか一方でもよい。
以上については招集時に点検をする。1000m～800m、ハードル、リレーの第4走者において
は腰ナンバーを各校で用意すること。
★1500m、3000m、の出場者には腰ナンバーを、3000m、5000m、5000mWの出場者には、
別胸ナンバーおよび腰ナンバーを渡す。ゴール後は、すぐにはずして係に返却すること。
- 8 腰ナンバーは定められたレーン番号布を右腰やや後方に付けること。
- 9 スタートブロックは競技場備え付けのものを使用すること。
- 10 やりは各自持参のものを検査をうけて使用してもよい。検査は第1コーナーの用器具庫で行う。
検査時間：招集開始の20分前から10分間で行う。（女子：8:30～8:40、男子：11:00～11:10）
- 11 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。（天候その他により、審判員の判断で変更することがある）

		練習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
走高跳	男	1.40	1.45	1.50	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	1.83	1m80以降3cmずつ
	女	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	1.50	1.53	1.56	1m50以降3cmずつ
棒高跳	男	審判長および審判員が協議して決める、但しバーの上げ方は10cm単位とする										

順位決定のためのバーの上げ下げは、走り高跳びでは2cm、棒高跳では5cmとする。

- 12 競技運営の都合上、5000m、3000m、3000mSC、5000mWは、著しく遅れた時は途中で打ち切る場合がある。
指示があれば速やかにレースを中止すること。
- 13 ウォーミングアップについては、サブトラックにて行うこと。ただし、投てきの練習は禁止する。
- 14 各自の荷物は各自でよく管理すること。更衣室等に監視なしで放置すると盗難の恐れがある。
忘れ物、落とし物のないようよく注意すること。
- 15 補助員は各校より2名を出すこと。指示を受けてから任務につくこと。
- 16 競技場は、9mm以下の全天候用のスパイクピンを使用すること。
ただし走高跳、やり投は12mm以下とする。
- 17 2日目の競技終了後、県大会出場者の確認、並びに+α順位決定の会議を行う。県大会に出場する学校は必ず
出席すること。 場所……ユニバー競技場会議室 時間……15:30～17:00の予定

県大会出場選考方法 予選会形式（神戸方式）

- (1) 県大会へは二次予選及び決勝の結果、男子上位7名、女子上位6名が出場できる。競歩は男女とも2名。
(全国大会出場権獲得者はその種目に限り地区予選会に出場しなくても県大会に出場できる。
ただし、地区予選会において、その種目にエントリーをしておかなくてはならない。)
- (2) 一次予選で上位8～16名を選び、二次予選を実施する。ただし、種目、参加人数により
一次予選のみとすることがある。
- (3) 二次予選の出場権を得たものがレースに出場しない場合、県大会への出場権を放棄したもの
とみなす。
- (4) 跳躍（走高跳、棒高跳は除く）、投てき種目は3回の試技後、上位8名を選出しあと3回の試技を行う。
- (5) +αは一次、二次のタイムを参考にし決定する。